

## 2022(令和4)年度事業報告

### ○ 第一光の子保育園(築11年経過)の建物の不具合

2012(平成12)年の5月末に新園舎の落成式を行った第一光の子保育園の建物ですが、最近になって第一光の子保育園の職員から聞いて確認したのは、園舎の西側にある大きな円形の窓の周囲の防水加工があまり良いないものであったことから、雨水が入ってきて、建物の内側にある下の下駄箱や物置が水浸しになってしまうことがあるというこどでした。しかも、それは、新園舎が建てられてから3年を経過した頃から続いているとのことでした。

その状況を工務店に見ていただき、修繕するための費用を見積もっていただいたところ75万円ということでしたので、夏期賞与を支給した後に会計状況を見て、理事会で諮らせていただく予定であります。

### ○ 第二光の子保育園(築18年経過)の建物及び器具の不具合

2005年の2月末に新園舎の落成式を行った第二光の子保育園も、今年の2月末で築18年となりました。そのため、建物の屋根に関する部分の雨漏り防止工事やガスのバルクタンク工事などを既に行いましたが、電話機の故障及び不具合、子ども用トイレの和式から様式への改修、エアコンの不具合などといったことが次々として出てきておりますので、今後も、そうした不具合や改修が必要などところについて順次対応して行く必要が出てくるものと思っております。

### ○ 角田光の子保育園の給食担当者の確保

2019年の4月に開園した角田光の子保育園ですが、4年が経過したこともあり、入口の扉の不具合をはじめ、修理が必要となるところが次々として出てきていることから、修理することの連続となっている。

### ○ 全体的な今後の取り組み

#### 1) 積極的な研修会への参加及び対面式の研修会の開催

コロナウィルスへの感染問題との関わりから中断してしまっていた研修会への参加、講師の先生をお招きしての研修会の開催を、今後、三施設で実施することができるようにして行きたいと考えております。これまでのオンラインでの研修の良いところもあったものとは思われますが、やはり対面式の研修会のほうが伝わってくるものが多いのではないかとと思われるからです。

#### 2) 園児たちが様々な体験をするための施設間の交流

これまで、各施設において行われていることについての情報交換をする時が少なかったことから、今後、そうしたことについての情報の交換と情報の提供をする機会を持つ

ことができるようにしたいと考えております。

### 3) 経年劣化に伴う補修・修繕についての施設間での情報共有

業務報告のところでも触れましたことですが、年数が経つと共に建物や備品が経年劣化により、補修したり修繕したりする必要が出てくるのは止むを得ないことですが、そうしたこともできるだけ早い段階で何らかの対応をしておくことで、補修のための費用や修繕のための費用を軽減することができる場合もありますので、そのための情報の交換や情報の共有は大切なことではないかと考えられることから、定期的な話し合いの時の持つことができるようにしたいと考えております。こうしたことは、新たな取り組みをする際にも重要なこととなって行くのではないかと考えております。

いずれにしましても、今年度は、経年劣化に伴う補修・修繕だけで財政的に厳しくなることから、コロナウィルスへの感染問題によって中断してしまっていたことを再開するだけで、精一杯ということになるものと思っております。

### 4) 社会保険労務士の指導による職員の職務環境の整備

当法人の評議員であり、社会福祉労務士の吉田尚弘氏より、職場環境をより整備して行くためには、どのような取り組みをして行かなければならないかということのご指導を、月、最低一回行うようにしております。今後も、労務の問題についてご指導をいただき、職場環境の整備を進めて行きたいと考えております。